

事務事業名	花とみどりの推進事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6223						
			所属課室	みどり自然課		課長名	杉山 啓子						
	☐ 実施計画事業		所属担当	花とみどりの推進		担当者名	藤巻 和彦						
基本政策	基本計画体系	Ⅲ	うるおいと利便性のある都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
		13	都市空間の整備			01	一般	08	04	06	020	06	
政策		21	安らぎ空間の整備		事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金							
施策													
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 年度）		法令根拠										
	☐ 期間限定複数年度（ 年度）												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載					事業費の主な内訳（ 24年度 決算見込）							
	★花とみどりの推進事業					項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
	①花苗配布事業・・・花壇・フラワーポット等へ春、秋植え花苗を植栽する。年2回					報償金 10							
	②市内公共花壇、緑地等の維持管理及び整備					消耗品費 5,263							
	③市民協働による花壇整備や校並木の景観づくり支援 ・花壇の隣接宅の水道使用に対する謝礼（老人クラブ） 荊沢花壇					燃料費 7							
					計 5,280								

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	・花苗配布事業：春・秋植え・市内公共花壇緑地等の維持管理及び整備
25年度活動予定	・花苗配布事業：春・秋植え・市内公共花壇緑地等の維持管理及び整備
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
・市民 ・保育所(園) 児童 小中学校学童・生徒 保育・教育関係者 ・市民活動団体・ボランティア団体・自治会・老人クラブ・市内の公共・公益施設等で働く人	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
・個人が緑化に関する知識を身につけ、楽しみながら、適正な維持管理ができる	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市民の緑化意識の高揚を図り、市民協働の花と緑のまちづくりを推進することができる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アイウ	件
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アイウ	件
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アイウ	件
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アイウ	%

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	5,339	5,280	5,260	5,260	5,260	5,260		
			事業費計 (A)	千円	5,339	5,280	5,260	5,260	5,260	5,260	0	
	人件費	正規職員従事人数		人	2	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間		時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		人件費計 (B)		千円	3,962	3,962	3,962	3,962	3,962	3,962	3,962	0
		(A)+(B)		千円	9,301	9,242	9,222	9,222	9,222	9,222	9,222	0
活動指標		アイウ	件	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0		
対象指標		アイウ	件	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0		
成果指標		アイウ	件	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0	135.0		
上位成果指標		アイ	%									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	美しい自然と調和のとれた都市環境を形成するため、平成15年より開始
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	環境に対する意識が高まりつつあり、美しい都市空間形成に対する取り組みが始まってきた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	花苗供給の増

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過（取り組みしていない場合はその理由）	花苗の適正な配布のため、花壇等の面積調査を実施した。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	花植栽場所の現地調査及び、花壇等の面積調査を行った。

事務事業名	花とみどりの推進事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 まちかど花壇や公共施設等に花を植え、緑豊かな街並みを形成している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 時代の変化や多様化する住民ニーズに対応するため、税を投入し、「緑」に対する意識を高めていく。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 生活環境の保全に対する意識の高揚を高めるためにも、維持・継続することは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由↓】 花を街路樹の下に植栽をしないで、公共花壇の植栽を増やす。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 花苗配布事業は、小規模では効果が少ない。 ☐ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☐ 休止・廃止ができる ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 緑の基本計画の中で、市民ボランティア団体等による活動を一層発展させ、緑の普及を進めるため休止・廃止はできない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由↓】 シルバー人材センターへ委託している植栽分を市民へ一部植栽をお願いすることで、事業費の削減余地がある。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を見減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 花苗配布については、花苗購入業者に委託し、また、花苗の植栽については、ボランティア団体が植栽業務をおこなっており、職員が関わる人件費の削減に努めた。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 公平・公正である ⇒【理由↓】 植栽の地域が一部偏っているため、植栽をする必要がない所は廃止する。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	この事業は、まちづくりの景観を市民と協働で行う事業であり、人件費等は職員負担分のみで効率的に対応している。また、平成22年度において、みどりの募金事務作業賃金を予算計上していたが、平成23年度予算において賃金を廃止した。花苗の配布先が一部地域に偏っているとの担当者の考えもあるので、今後、各地域のボランティア団体と協議を踏みながら公平性を期す必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☒ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☒</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☒	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
① 市内公共花壇の現状調査		(5) 事務事業優先度評価結果																						
② 植栽場所の適正調査		成果優先度評価結果	⑥																					
③		コスト削減優先度評価結果	⑨																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
① 植栽場所の土壌検査を行い適正か判断する。																								
②																								
③																								